

4-1-11-3 放射線診療部技術部門

1. 概要及び特色

平成 18 年度はナショナルセンターにおいても独立行政法人化の決定を受け、生き残るための方策を考えなければならない時期を迎えた。放射線診療部としては現有装置の利点を十分に発揮するための地域医療連携に重点を置いた対策を提案した。

まず、高額医療機器であるCT装置およびMRI装置を有効利用する目的で施設共同利用率の向上のために近隣保険医療機関に紹介患者の働きかけを行った結果、施設基準を満たすことができ順調に紹介患者数も増えている。

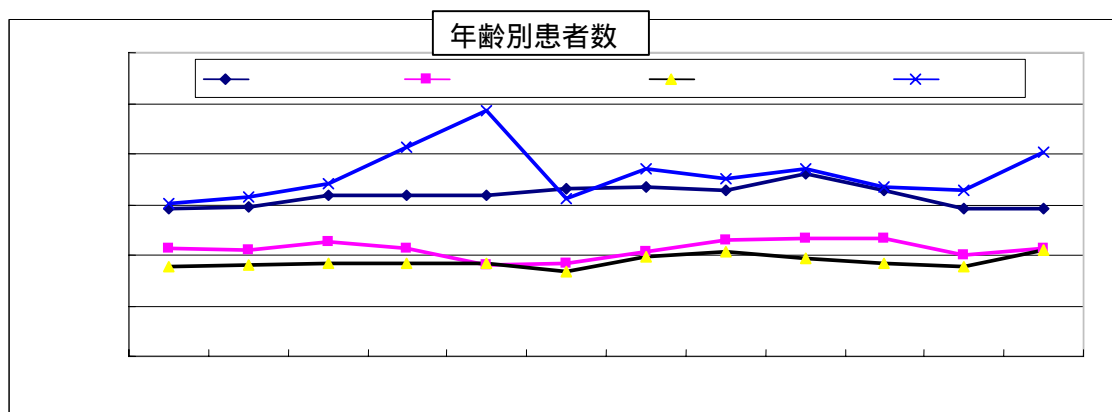
次に、乳がん検診に関しては、検診マンモグラフィ撮影診療放射線技師認定を取得するよう指導し認定技師の増加をみることができなお、施設認定も取得できたことで検診者および紹介医療機関からの信頼感にも厚みを持たせることができたことは、非常に意義深いことである。

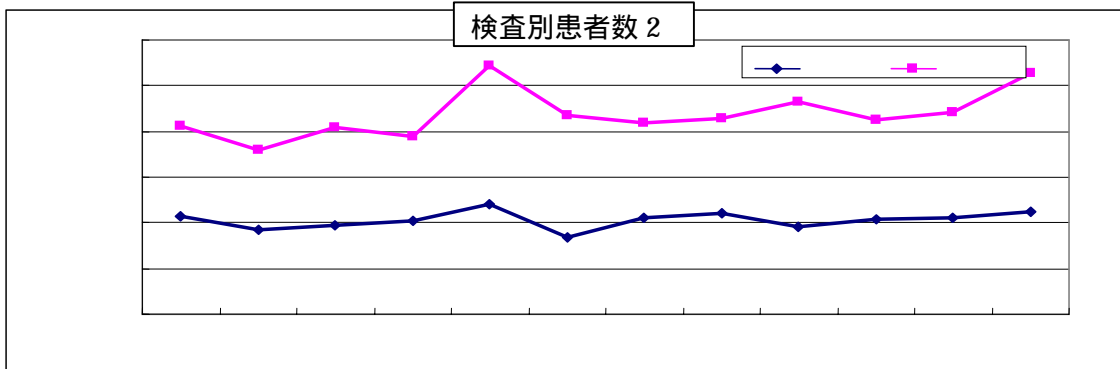
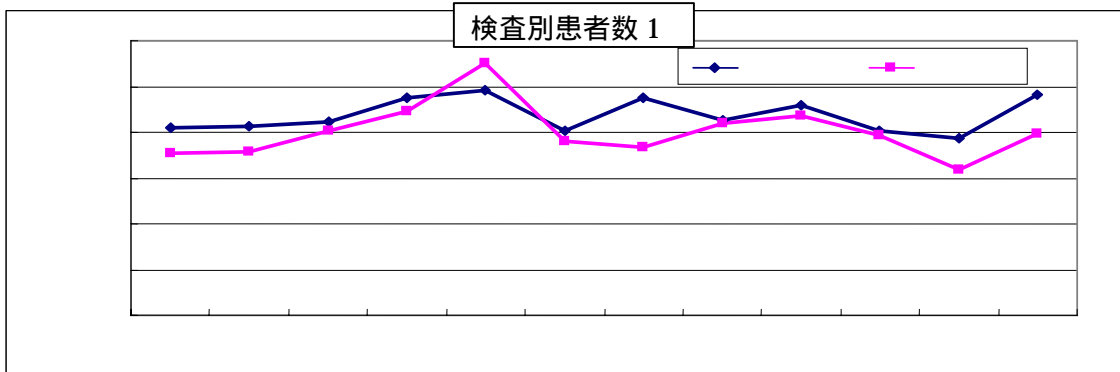
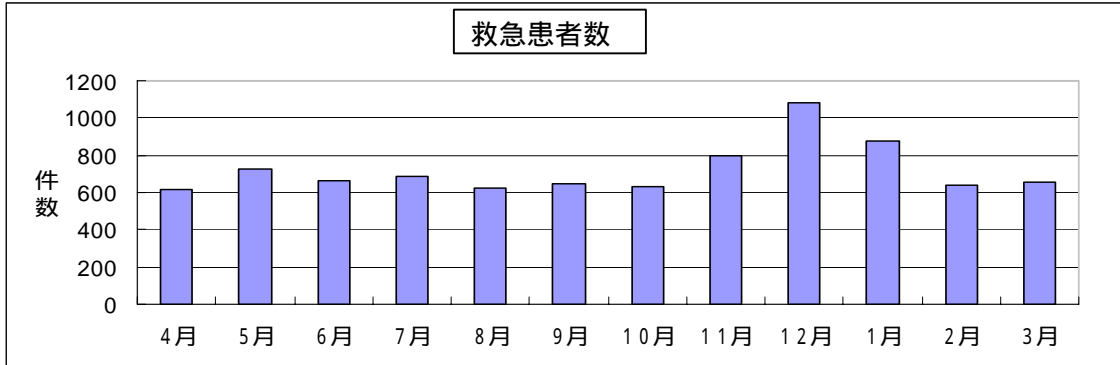
また、診療放射線技師を対象とした成育医療研修を実施できたことは、小児およびご家族への対応、被ばく線量管理、撮影条件等で成人との対応の違いを理解していただくためには有意義であった。しかしながら、短期間の研修のため基礎から応用までを理解するには時間不足が否めない感もあった。今後も研修を継続させることにより成育医療の概念を理解した担い手が育成されることと期待する。

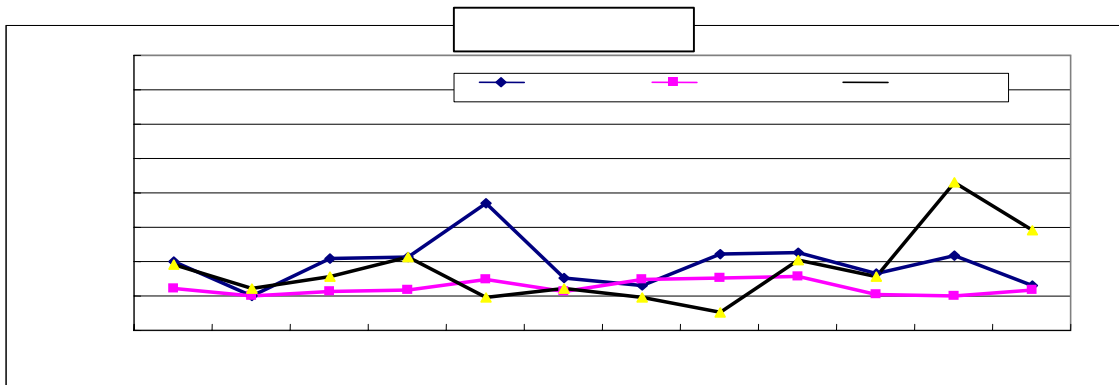
平成 19 年度においては、来る独立行政法人化に向けて地域医療連携は欠かすことのできない役割の一つであるとの認識にたち、地域保健医療機関から医療連携室を介していかに検査予約ならびに結果報告をスムーズに行えるかを検討していかねばならない時期であると考える。

2. 診療活動など

平成 18 年度放射線検査業務について報告する。







放射線診療部機器一覧

	用 途	装 置 名	購入年月日
1	一般撮影	DHF-158H	H.14.3.1
2	一般撮影	DHF-158H	H.14.3.1
3	一般撮影	DHF-158H	H.14.3.1
4	一般撮影	DHF-158H	H.14.3.1
5	泌尿器婦人科 X 線 TV 撮影	HYDRAJUST	H.14.3.1
6	X 線 TV 撮影	PRUS-C	H.14.3.1
7	X 線 TV 撮影	PRUS-C	H.14.3.1
8	内視鏡用 X 線 TV 撮影	meix-900D	H.14.3.1
9	MRI 検査	INTERA1.0 Power	H.14.3.1
10	MRI 検査	INTERA1.5 Master	H.14.3.1
11	オープン MRI 検査	AIRIS (0.3T)	H.14.3.1
12	診断用 MD-CT	LightSpeed Ultra	H.14.3.1
13	シネアンギオ用連続血管撮影	AXIOM Aritis BC	H.14.3.1
14	アンギオ用 CT	Asteion	H.14.3.1
15	外科用 X-TV	SERIES 9800	H.14.3.1
16	治療計画用 CT	Asteion	H.14.3.1
17	リニアック	MEVATRON MD2	H.14.3.1
18	ガンマカメラ	ECOM	H.14.3.1
19	ガンマカメラ(PET 対応)	E.COM	H.14.3.1
20	ガンマカウンター	ARC-380CL	H.14.3.1
21	乳房撮影	セノグラフ DMR+	H.14.3.1
22	骨塩定量	和ソック DELPHI A	H.15.12
23	歯科用パノラマ撮影装置	AZ3000CMR	H.14.3.1
24	デンタル撮影	MAX-DC70	H.14.3.1
25	移動型デンタル撮影	MAX-DC70	H.14.3.1
26	外科用 X-TV	SERIES 9800	H.14.3.1

27	ポータブル撮影	PX-100CL	H.14.3.1
28	ポータブル撮影	PX-100CL	H.14.3.1
29	ポータブル撮影	PX-100CL	H.14.3.1
30	ポータブル撮影	PX-100CL	H.14.3.1
31	ポータブル撮影	モビレットプラス HP	H14.12
32	ポータブル撮影	モビレットプラス HP	H14.12
33	ポータブル撮影	シリウス 100K	H01.02.20
34	ポータブル撮影	シリウス 100K	H03.03.29
35	ポータブル撮影	シリウス 100K	H03.03.29
36	PACS、レポートシステム	PathSpeed、AdvantageReport	H.14.3.1